を例に

説明します

**ドラッグレター（２０２５年　２月号）**

3年生

**～ （り）の正しいり方 ～**

**ポイントは３つ！（清潔、塗り方、塗る量）**

**食品 が含まれている画像

自動的に生成された説明**

**＜ 塗る量 ＞**

　 塗った後、塗った部位が**ペタペタする状態**（光を当てたら**テカテカしている状態**）が適量。

　 広範囲に塗る場合、量の目安として**FTU（ ：塗布量の単位）**があります。

　 人差し指の先から第1関節までの長さだけ、軟膏をチューブから出した量（約0.5 g）が

　 1FTUです。**1FTU**で**指を閉じた**状態の**手のひら2枚分**に相当する面積が塗れます。（図）

**＜ 清潔 ＞**

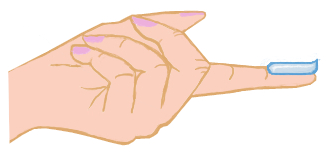
**塗る部位**と**塗る指**を清潔にする。

**＜ 塗り方 ＞**

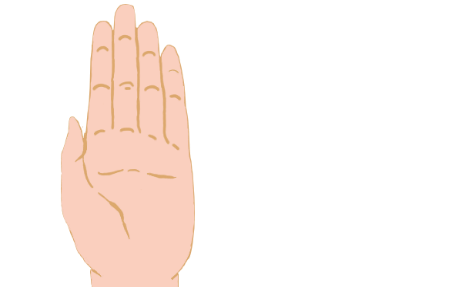
**やさしく伸ばす**ように塗る。

　 （ゴシゴシとすり込むのは**×**）

1FTUの量で…



第1関節



（図）

1FTU

（約0.5 g）

***知っておこう！***

手のひら2枚分に相当

する面積が塗れる

ステロイド塗布薬の正しい使い方

ステロイド塗布薬は症状がひどい時に使いますが、正しく使わないと、塗った部位に副作用

（皮ふが薄くつっぱる・赤くなる、ニキビ、多毛など）が現れやすくなります。インター

ネットやSNS上には「ステロイドは怖い」「使わない方がよい」などの情報が見られますが、

特徴を理解し、正しく使えば怖くありません！

**【 特徴 】**

　★ 炎症やアレルギーなどの症状を強力に抑える働きがあるため、症状が早く改善する

　★ 様々な強さの塗布薬があり、症状の程度や塗る部位に合わせて、使う塗布薬の強さを変えていく

・使う塗布薬の強さが**強すぎる** → 短期間で副作用が現れてくる

・使う塗布薬の強さが**弱すぎる** → なかなか治らないため長期使用となり、やがて副作用が現れてくる

**【 正しい使い方 】**（医師や薬剤師等の指示に従い、①～③を守れば副作用は現れにくい）

　 ① 症状の程度や塗る部位に合った強さを選択する

　 ② 症状が良くなったら、その良くなった症状に合わせた強さにランクダウンする

　 ③ 症状が治まったら直ぐに使用を中止する

クリーム剤、ゲル剤、

ローション剤の塗り方

・塗る量、ステロイド

塗布薬の強さなどは

こちら！

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

作成・発行元

**《 －出張相談会－　 保健室に学校薬剤師が来ます 》**

ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用など

について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！

**●月●日（●）　　●時●分　～ ●時●分**